

公益社団法人 関西吟詩文化協会

令和元年・2年度 重点課題

本会は昨年度、積年の懸案事項であった「会館建設問題」に決着をつけ併せて創立85周年事業を盛会裏に挙行することが出来、大きな節目を終えましたが、改元により「令和元年」となった本年は、本会も我が国全体の少子高齢化の波にも煽られ、会勢の脆弱化には歯止めが掛からないまま新年度を迎えました。

折りから2年後には内閣総理大臣認定の「公益社団法人」として10周年を迎えることになります。この2年間は人生100年時代にあつて、次の世代も活き活きと活躍できる抜本的な体制づくりに向かって叡智を絞って真摯な努力を重ね、結論を見出していかねばならない。組織を上げて勇気と行動をもって課題に挑戦して参ります。

スローガン	「温故新生」(視座をかえて)
本年度方針	<p>「人生100年時代」を見据えて、10年後を視野に入れた諸施策の立案実行に全精力を結集する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 詩歌吟詠の普及推進を図るため、本部と地区連合会・各会が相互の立場を超え、連携して課題に立ち向かう 2. 公益事業の推進は、本部事業のみにとらわれず幅広く推進する 3. 中期的な採算改善に取り組む。根幹の問題は、多面的・多角的に判断する <ol style="list-style-type: none"> ① 10年後を視野に入れた「より盤石な組織づくり」 ② 10年後を視野に入れた「財政基盤の健全化」 ③ 10年後を視野に入れた「より適切な運営体制の見直し」
重点課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会員増強諸施策の実施 <ol style="list-style-type: none"> イ、ひとり一声運動の展開 ロ、再入会促進キャンペーンの継続実施 ハ、第3次増員対策委員会設置、対策案の策定・実施 ニ、本部と各会会長(公認団体)との対話・連携の強化 ホ、地区との事業連携の強化 ヘ、会員の年齢拡大検討(3歳から100歳まで) ト、名誉会員・賛助会員制度の策定 2. 人材の育成と研修事業の見直し <ol style="list-style-type: none"> イ、指導者養成講座(東明未来塾)の全国展開と受講者のフォローアップ ロ、研修事業として、吟詠普及推進事業の推進、全国吟詠大会の各地区持ち回り制度の検討 ハ、幼少年・青年部員の育成・活性化の為の事業の推進 3. 健全な財務体質確立を目指した中期計画課題の具体的検討 <ol style="list-style-type: none"> イ、各種事業の抜本的見直し。固定費圧縮を含めた経費計画の見直し ロ、総本部運営体制の見直しと改善対策の立案・実施 4. 定年問題検討(代議員制度の見直し) <ol style="list-style-type: none"> イ、定年問題検討委員会設置、対策案の策定 <ul style="list-style-type: none"> ・役員定年延長問題 ・代議員選出規定の見直し ・年齢にこだわらない人材